

# 浪江町中心市街地 検討委員会(第1回)・職員検討会(第1回,第2回)・町民座談会の 議論のまとめ

### 新町通り

(1) 新町通りの資源  
①伝統文化(野馬追祭、はだか祭り、など)  
②イベント(十日市、緑のフェスティバル、など)  
③浪江小学校  
④中央公園、新町ふれあい広場  
⑤空き地、空き店舗、空き家

(2) 課題 + 方向性  
商店の経営が成り立つモデルケースの確立  
浪江らしさを感じる空間づくり(イベント・歴史)魅力的な商店の再生参加が必要

(3) 新町通りに必要な取組案

- イベントの復活や個人商店の再開。 愛着のある旧施設の活用。 屋台営業。
- 114号線との交差点に休憩所を設置。 駐車場の整備。 回遊路の整備。
- ソフト事業とハード事業が必要。 統一された外観。 行政と地元との協働。
- 歩道のセットバック。
- デマンド交通を活用した利便性の向上。 一方通行の導入。

平時は休憩所、憩いの場となり、イベント時は会場となる公園が必要。  
→きれいなトイレ、噴水、池、イルミネーション、ベンチ、木陰

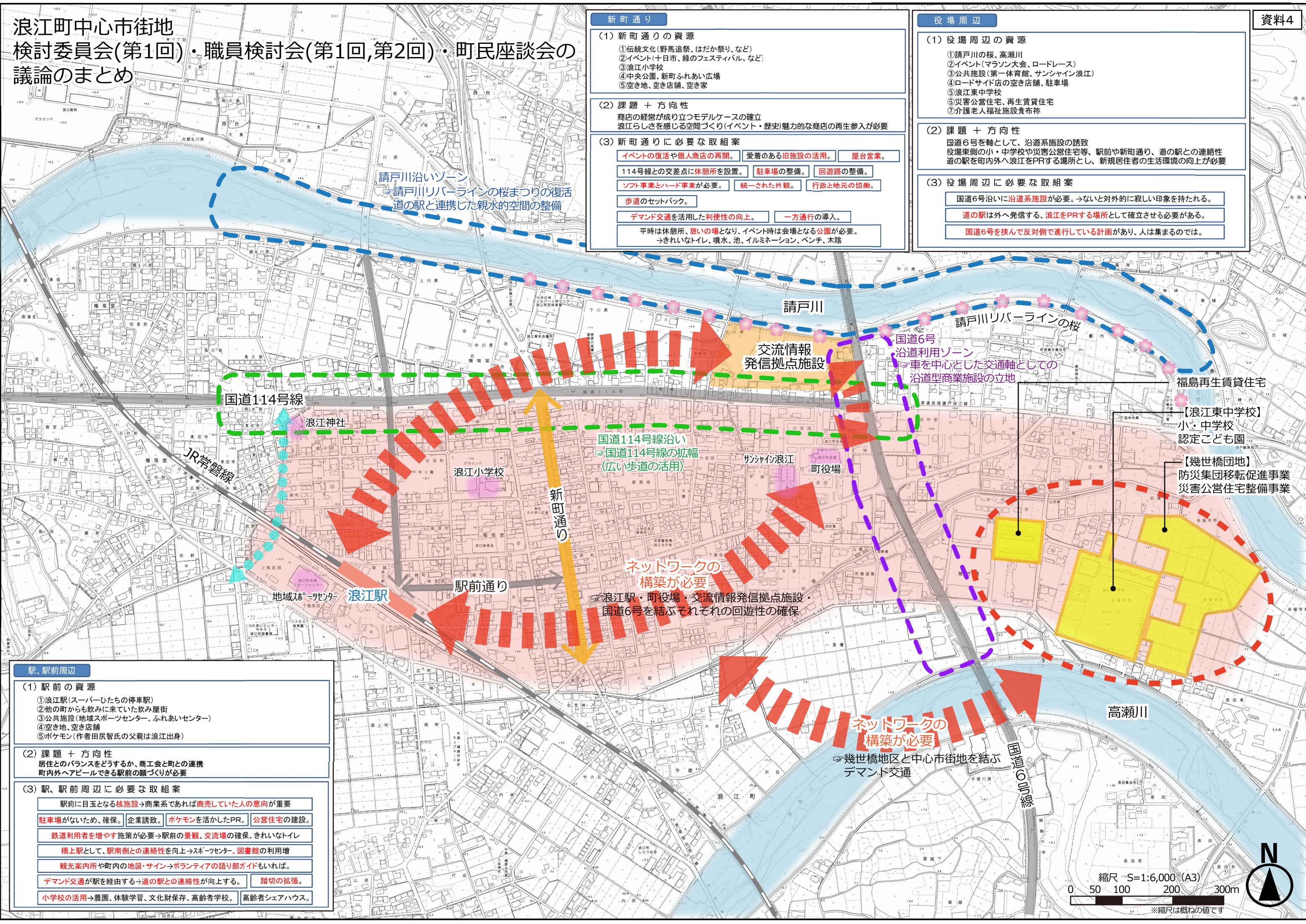
### 役場周辺

(1) 役場周辺の資源  
①請戸川の桜、高瀬川  
②イベント(マラソン大会、ロードレース)  
③公共施設(第一体育館、サンシャイン浪江)  
④ロードサイド店の空き店舗、駐車場  
⑤浪江東中学校  
⑥災害公営住宅、再生賃貸住宅  
⑦介護老人福祉施設貴布祢

(2) 課題 + 方向性  
国道6号を軸として、沿道施設の誘致  
役場東側の小・中学校や災害公営住宅等、駅前や新町通り、道の駅との連絡性  
道の駅を町内外へ浪江をPRする場所とし、新規居住者の生活環境の向上が必要

(3) 役場周辺に必要な取組案

- 国道6号沿いに沿道施設が必要。→ないと対外的に寂しい印象を持たれる。
- 道の駅は外へ発信する、浪江をPRする場所として確立させる必要がある。
- 国道6号を挟んで反対側で進行している計画があり、人は集まるのでは。



### 駅、駅前周辺

(1) 駅前の資源  
①浪江駅(スーパーひたちの停車駅)  
②他の町からも飲みに来ていた飲み屋街  
③公共施設(地域スポーツセンター、ふれあいセンター)  
④空き地、空き店舗  
⑤ポケモン(作者田尻智氏の父親は浪江出身)

(2) 課題 + 方向性  
居住とのバランスをどうするか、商工会と町との連携  
町内外へアピールできる駅前の顔づくりが必要

(3) 駅、駅前周辺に必要な取組案

- 駅前に目玉となる核施設→商業系であれば商売していた人の意向が重要
- 駐車場がないため、確保。 企業誘致。 ポケモンを活かしたPR。 公営住宅の建設。
- 鉄道利用者を増やす施策が必要→駅前の景観、交流場の確保、きれいなトイレ
- 橋上駅として、駅南側との連絡性を向上→スポーツセンター、図書館の利用増
- 観光案内所や町内の地図・サイン→ボランティアの語り部ガイドもいれば。
- デマンド交通が駅を経由する→道の駅との連絡性が向上する。 踏切の拡張。
- 小学校の活用→農園、体験学習、文化財保存、高齢者学校。 高齢者シェアハウス。